

平成 31 年 1 月 1 日

第 52 号

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します

卒後臨床研修評価機構（JCEP）

受審について

臨床研修センター長

小林 俊也



当院は研修医の指導を行っている基幹型臨床研修病院です。医学部を卒業し、医師国家試験に合格して医師免許を取得しても、すぐに一人前の医師として働けるわけではなく、いろいろなことを勉強し、技術を身につけなければなりません。そのため医師としてののはじめの2年間は初期臨床研修期間として様々な診療科を回り、研修を行います。「鉄は熱いうちに打て」のことわざにもあるように、この最初の2年間でどれだけ成長できるかがその後の医師人生にも大きく影響してきます。研修医は将来の日本の医療を背負って立つ金の卵であり、立派な医師に育て上げることが臨床研修病院には求められています。

今回、当院の研修制度の現状と問題点を明らかにするため、第三者機関である NPO 法人卒後臨床研修評価機構（略称 JCEP、ジェイセップ）による研修プログラムの評価を受審いたしました。これは臨床研修病院としての体制、機能、環境、そして研修プログラムに関する評価を行うものです。あらかじめ自施設に関する施設概要や研修プログラムに関する自己調査票を提出しておき、それに基づいて機構からのサーベイヤーによる訪問を受けて実地調査が行われます。我々は今年の初めから準備を始めましたが、今までの研修プログラムでは足りない部分がたくさんあることが判明し、様々な点でのプログラムの変更を余儀なくされることとなりました。研修医にとっては新たなことが次々と始まり、戸惑うことも多かったと思います。また、病院全体で研修医を育てる環境を整えるため、病院職員全体にも理解を求めることが多くありました。この準備に様々な人が協力してくれることにより、かなり良い準備ができたと思います。

そして、11月14日にサーベイヤーによる訪問調査がありました。書類審査や面接調査、外来や病棟を含む様々な部署への訪問調査と研修医、指導医へのインタビューが行われまし



た。いずれもかなり細かいところまでチェックをされ、厳しい質問もありましたが、病院全体としてしっかり協力していただきスムーズに進行しました。正式な評価結果の公表はこれからですが、この結果を基にしてより良い臨床研修病院となるようこれからも努力していきたいと思えます。当院を受診する患者の皆様にも、研修医をより良い医師に育て上げるための指導にご協力をお願いいたします。

シリーズ 部署 紹介

1 5 物流センター



物流センターは3部門（資材倉庫、中央滅菌材料室、マシンショップ）から構成され、病院内の物流管理業務を行っています。

資材倉庫では、診療に必要な材料、事務消耗品、清掃洗剤類、処置記録帳票類を請求受付から注文依頼を行い、物品供給窓口となり払出しの管理を行います。また、診療部署への診療材料・薬品定数管理、使用期限管理、救急カート管理、個人別注射薬の供給と回収を行っています。

中央滅菌材料室では、病棟、外来で使用する鋼製小物（セッシや剪刀類）の定数管理、使用後の回収、洗浄、滅菌を行います。また、手術依頼伝票を基に診療材料、器械セット等を供給、術後は器械セットの回収、洗浄、滅菌を行い、次回手術に備え、準備を行います。

マシンショップでは部署で使用される医療機器や看護用品を管理し、必要部署への貸出、使用後の回収、清拭、点検の実施、貸出履歴や機器毎の使用状況把握、また院内での機器修理窓口業務を行い、修理履歴等の管理を実施しています。

この様に物流センターでは、診療に必要な材料、器材、機器を集中管理して間接的に医療業務のサポートを行っています。

市民公開講座のお知らせ

2019年1月～3月の第4水曜日に市民公開講座を開催いたします。地域の多くの方々に、日常生活や介護等に役立つ知識を少しでも知っていただけたらと思っています。みなさまのご参加をお待ちしております。

開催予定日	講演予定テーマ	担当
1月23日（水）	「お薬の管理どうしていますか？」	薬剤部
2月27日（水）	「健康寿命を延ばす運動について」	リハビリテーション部
3月27日（水）	「健康寿命を延ばす食生活」	栄養部

～ 講演会後半は相談コーナーを設け、個々に質問をお受けします。 ～

時間	14：00～15：00（開場 13：30～）
場所	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 3階講堂
定員	各回 先着 40名 入場無料

*定員になり次第締切とさせていただきます。

*席に空きがある場合は、当日参加も受け付けております。



【お問い合わせ・お申し込み】

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 病院運営企画室

TEL：045-366-1111（代） 担当 伊藤

〈後援〉 横浜市医療局

あなたは大丈夫？フレイルの兆候を確認してみましょう！

加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会との繋がり）が低下することを「フレイル」といいます。フレイルは「虚弱」を意味する言葉です。

「健康」と「要介護状態」の中間地点であり、健康に戻る可能性のある段階です。

日常生活でささいな兆候を見逃さずフレイルの兆候に気がついたらできるだけ早く適切な対処をすることで、悪化を防ぎ改善へとつなげることが重要です。



◆このような兆候はありませんか？

- ☐ 歩く速度が遅くなった
- ☐ 手すりを使わないと階段をのぼれない
- ☐ 野菜料理と主菜（肉、又は魚）を両方とも含む食事を1日2食以上食べていない
- ☐ お茶や汁物でむせることがある
- ☐ 去年と比べて外出する回数が減った

これらの項目にひとつでも該当する場合は筋肉量の減少の兆候が疑われます。

日常の活動量を低下させないためには、まず筋肉量の減少を防ぐことが必要になります。

◆筋肉量の評価は自宅で簡単にできます！

～指輪っかテスト～

<確認方法>ふくらはぎの最も太い部分を両手の親指と人差し指で囲んでみましょう。



輪っかとふくらはぎの間に空間ができる人は筋肉が減少している可能性が疑われます。

筋肉が減少すると転倒、骨折、移動能力低下、日常生活が困難になるなどフレイルの可能性が高くなります。筋肉を維持するには、体を動かすことやバランスの良い食事をきちんととることが大切です。特に、筋肉を作る働きのあるたんぱく質を毎食たべるように食生活を見直してみましょう。（たんぱく質：肉、魚、乳製品、大豆製品、卵）

【例1】



【例2】



～栄養相談室からのお知らせ～

糖尿病や腎臓病の食事療法はもちろんですが、食事が摂れない、食事が飲み込みづらい体重が減少し体力がない、栄養状態に不安がある等、管理栄養士が病状にあった食事、食品の選択や調理上の注意、栄養補助食品、宅配食などについて食事や食生活に対する総合的な栄養の指導をさせていただきます。



「栄養食事指導」は**予約制**となっておりますので、主治医・担当医にお声かけください。



総合相談部からのお知らせ

総合相談部では、入院中または外来診療中の患者さま、ご家族のご相談を承っています。

ご相談内容については、秘密を厳守します。どうぞ、お気軽にご相談下さい。(ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします。) ご相談先は以下の通りです。

【**ソーシャルワーク係**】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことを相談したい、医療費や生活費が心配、転院の相談など。

【**ホームケア係**(看護相談など)】介護の仕方が分からない、訪問看護を受けたいなど。

【**地域医療連携係**】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたいなど。

【**総合案内**】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたいなど。

【**患者さま相談窓口**】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：

- ・ソーシャルワーク係、地域医療連携係、患者さま相談窓口
(1 階正面玄関横) ・ホームケア係(1 階産婦人科外来横)
- ・総合案内(1 階正面玄関)



当院は原則として「**初診紹介制**」となっています。初めて受診されるときは、地域医療機関(かかりつけ医等)からの「**紹介状**」をお持ちください。初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、ホームページまたは、総合案内、地域医療連携係へご確認ください。

【**当院の休診日**】 日曜日、国民の祝日、第 1・3 土曜日、開学記念日(10 月第 2 土曜日)、
年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 地域広報小委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL：045-366-1111(代)

次回(第 53 号)は、平成 31 年 4 月発行予定です。